

「唐丹希望基金」は
「善循環社会 家族日本」を目指します。

唐丹希望基金は「愛のあいうえお運動」だ。

世の中に **あ**いの花を咲かせる運動だ。

子どもたちに **い**きる力を与える運動だ。

震災を忘れないために **う**たを広げる運動だ。

素晴らしい **え**がおを広げる運動だ。

世界に広がる **お**おきな運動だ。

(標語提唱者：唐丹希望基金副代表 堀泰雄)

2016年4月「唐丹希望基金」は第二ステージを歩みだしました。これには、動機になった出来事がありました。2016年3月3日、高舘千枝子がNHK ラジオ深夜便「明日への言葉」に出演したことです。

ラジオで「唐丹希望基金」の5年間の活動と想いを話した事で、新たな想いが生まれ、各地で「鎮魂の歌」を歌っている方を訪ね、感謝を伝える「**鎮魂の歌 巡礼の旅**」をしよう、と思ったのです。

2012年9月、「鎮魂の歌 10,000人普及活動」を始めたものの、この5年間は募金に力を注ぐので精一杯で、しかも、被災地の方たちに、この歌が受け入れられなかったこともあって、積極的に取組みませんでした。

ラジオで話した、「世界へ広まれ鎮魂の歌」にふさわしい活動をしなければ…という思いにかられ、京都アンサンブルコスモス主宰 嶋澤純子さん企画「Kinko Music:FAMILY CONCERT 2016」に参加するため、京都を初めての旅先に選びました。ここに、坂口憲一郎さんが「鎮魂の歌」に合わせてハソウを吹きたいとの、知らせを頂いた時はビックリしました。「唐丹希望基金」は、これまで数々の奇跡(出会)に助けられながら、唐丹小・中学生の教育支援を可能にしてきましたが、2020年まで坂口さんが「鎮魂の歌」と共にハソウを吹いて下さる事を知った時は、「これは、奇跡!」と思いました。

ハソウは亡くなられた人の鎮魂のため奏でたと言われる、備前焼 須恵器です。「岡山ハソウを楽しむ会」代表 坂口憲一郎さんが東日本大震災犠牲者に捧げる「鎮魂の歌」に心を寄せて頂ける事は、大変、心強く思います。

「鎮魂の歌」を世界へはば立たせるために尽力して下さった方達を、忘れる事は出来ません。司令塔になって下さったのは横浜エスペラント会 牧野三男さん。牧野三男さんの要請に答えて、この曲に関わった方達は全員エスペラント会員。エスペラント歌詞に翻訳した小西岳さん、岩手県のごく一部の人だけしか知らない、この歌の知名度を上げるため、ボーカロイドソフト“初音ミク”による「鎮魂の歌」日本版、エスペラント版を YOU TUBE に投稿したのは、故 西川悟さんと林 周行さんです。楽譜制作には山田 義さんが携わりました。歌が発表された9月中旬から僅か3ヶ月半で全ての作業が終了。2013年1月初旬に歌を YOU TUBE に投稿、楽譜をホームページで公開しました。すると、登録人数も徐々に増え、YOU TUBE への投稿数は報告があったものだけでも楽譜を含めて31件です。2016年7月現在、“鎮魂の歌登録者数”は9,777人になりました。

「唐丹希望基金」は、「世界へ広まれ鎮魂の歌」を胸に秘め、“善循環社会・家族日本”の衣をまとい、「愛の**あ い う え お**運動」を掲げて歩みます。

東日本大震災・大津波によって多くの人命、財産、職場、町までものみ込まれ、いまなお生活が困窮している方が沢山いらっしゃいますが、あの悲惨な状況を見、いたたまれなくなった人々の結束に繋がり「唐丹希望基金」が誕生しました。任意団体でありながら、5年も募金活動が続いた陰には理由があります。それは、「あなた達の働きは、愛の花を咲かせるために被災地に必要なお仕事ですヨ・・・」と、励ましとも思える呟きがどこからともなく聞こえ、崖っぷちに立ちかかったその時に、最も相応しい出会いが訪れ、その力に救われながら、ここまで来る事が出来ました。

「唐丹希望基金」が真に目指すべきもの。

それは、子供達へ引き継ぐべき社会「善循環社会・家族日本」の創造です。これは「唐丹希望基金」を解散しても、家庭や学校、社会に溶け込むよう、生涯活動とも言えます。「愛の**あ い う え お**運動」を広めるため仲間を増やし続けていくことを止めるわけにはいかないのです。

今こそ「家庭は簡素に、社会は豊富に」を实践する時なのです。皆様、一緒に進んで参りましょう！

唐丹希望基金代表 高舘千枝子